

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	舞子坂音楽堂児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 18日		～ 2025年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 12月 18日		～ 2025年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽を利用したアプローチに強みがあり、音楽療法士やブローのミュージシャンなどの専門的人員からの療養教育を受けることができる。また、自由に様々な楽器を演奏でき、既定にこだわらない楽器演奏が可能で、個別に演奏練習をすることもできます。今まで味わったことのない楽器との関りができます。	集団音楽活動を取り入れ、集団での活動のルールやマナーが学べるようにウイークデイに毎日実施しています。活動時間の把握や準備、活動中の姿勢保持や活動に応じた身体状況の対応、職員や他児とのコミュニケーションや、受け答えの状況判断や意思決定力を高めるための本人主体の活動に取り組んでいます。	個々のご利用者様のその時々のご行動が、その背景も把握できるような職員間の情報共有や理解ができる潜在的な能力向上のために、個々のご利用者様の事例に応じて職員間の話し合いや会議などを実施し、ケーススタディを通じて個々のレベルアップを図っています。
2	「楽しいからまた取り組みたい」を基本精神に、個々の特性に応じた配慮や状況に応じた対応をおこない、利用者主体の支援体制が整備されています。出来ることをさらに伸ばし自己効力感を高め、困難なことや苦手なことに少しずつアプローチができる環境が整っています。	本人主体の支援方法を基本精神に、ご利用者様のその時々のご状況に臨機応変に対応した支援をおこなっています。好きなことや楽しんで取り組めることをさらに伸ばしていきながら、苦手なことや困難なことにチャレンジしていくことも可能になるように、自己効力感が醸成されるような取り組み方法を実施しています。	取組に対する方向性の共有はもちろんのこと、その取り組みの進捗方法について、ご利用者様の気持ちに寄り添った判断ができるように、日々のコミュニケーションを活発におこない、良好な人間関係を構築し、前向きになれる環境を整えています。
3	ITやSNSを活用し情報公開の透明性は高く、保護者様への遅滞ない情報提供に努めています。活動内容や行事予定、お知らせや緊急連絡等、日々のご利用者様の状況などの情報を、提供可能な環境と運用体制が整備されています。	些細なことでも、変化に対する遅滞ない情報共有がおこなえるように、職員との情報共有の重要性についての意識づけに努めています。また、遅滞ない連絡がおこなえるように、社内情報共有ツールを活用し、事業所間の状況や社内の動きを確認し、個々の職員が情報難民にならないような工夫をしています。	発信した情報が、情報を受けた保護者が認識しやすい見せ方やタイミング、ツールの選択、より認知できるような周知案内などを工夫して、より良い情報提供の工夫をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価が、評価表という有形で評価されておらず、無形の評価をもとにしか業務改善につなげられていない。	第三者による有形評価の方法に対する情報認識。	第三者による有形評価の方法に対する情報を取得し、当法人に、より有効的な方法を取捨選択し、より良い業務改善が見込まれる状況を選択してまいります。
2	児童発達支援センターとの直接的な連携事例が少なく、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会の頻度が少ない。	ご利用者様の状況に、児童発達支援センターとの濃密な関係性を保持する事例が少なく、その状況に至っていません。	必要に応じて、児童発達支援センターとの有効的な連携方法を検討し、より良い支援提供ができる環境を整備し、業務改善をしてまいります。
3	集団で、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が設けられていない。	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会に視点を向けた支援方法に、特段意識する場面に恵まれていなかった。	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の有効性を評価検証し、より多様な支援方法を模索していきながら、より良い支援提供ができるように業務改善をしてまいります。

事業所名	舞子坂音楽堂児童デイサービス
------	----------------

公表日 2025年1月28日

利用児童数 22

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4	0	2	適正空間がどれくらいわかりません。	ご利用者様の安全に配慮し、のびのびと過ごせるような環境構成に努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	3	適正空間がどれくらいわかりません。	基準を満たしており、さらに状況に応じて増員し、より手厚いサポート体制を整備しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	4	適正空間がどれくらいわかりません。	視覚支援に関しては今後も職員で勉強を重ね、より良いものを提供できるよう努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	1	0	2	適正空間がどれくらいわかりません。	全職員が衛生面への知識をしっかりと身につけているよう内部研修の実施や外部研修へも積極的に参加していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	1	細かいことにも対応していただき、とても助かっています。	現状に甘んじることなく、継続してより良い支援方法を模索していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		今後も、適正な支援プログラムに準じた支援を提供し、随時、より良い支援が提供できるよう改善します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		本人主体をベースに、今後もご利用者様一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	1		支援のマンネリ化や支援の押し付けにならないように、さまざまな意見や方法を取り入れ、見聞を広げられるように常にアンテナを張り、より良い支援提供者として、ご利用者様に接していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1		ご利用者様の発達に寄り添える支援者となれるよう、職員それぞれが知識と経験を深めていく事に努めていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	1		ご利用者様の成長に彩りを添えていけるよう、季節感のあるプログラムや成長発達に応じたプログラム構成に今後も努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	7		地域とのつながりを広げていき、今後、ニーズや社会情勢に応じて検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	0	1		ご利用者様に安心してご利用していただくために、説明が不十分にならないよう丁寧な説明を心掛けていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	1		今後も、定期的なモニタリングで計画の見直しをおこない支援をしてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	2	8	演奏会やコンサートに参加させてもらい、子供たちの取り組みや日々の成果などを見る機会がある。	ご家族のよりよい関係づくりのサポートを行うためにも、今後スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充をおこなっていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1	0	0		今後も継続して、ご家族様のご相談により良い対応できるよう努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0		今後も、定期的なモニタリングで計画の見直しをおこない支援をしてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		ご利用者様の主体的な生活が送れるように、より良い支援体制を整備し継続していきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	3	6		定期開催のクリスマス演奏会やジェンベ大会にぜひご来場いただき、親子でイベントを楽しんでいただければと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	1	相談した際は、親身になって聞いてくださり、迅速に対応して頂いています。	今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	1		今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	0	3	利用申込書などのイベント告知で認知。HPでの情報更新は停滞しているが、LINEでの連絡がスムーズにできる。	常に、良好な情報提供が可能になる方法について精査し、より良い情報提供に努めてまいります。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		ご利用者の大事な情報になりますので、今後も細心の注意を払って対応していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	4		訓練のための訓練にならないように、訓練をする児童にも実際の有事に備えた訓練になるように開催していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	4		訓練のための訓練にならないように、訓練をする児童にも実際の有事に備えた訓練になるように開催していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	3		日々のマンネリ化に流されないように意識を持ち、常に「かもしれない」と安全に対する意識を高めて、支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	1		報告業務が滞らないように、職員間の報告方法の精査と有効的な取り組みを今後も継続していきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0		ご利用様が、安心して安全な時間を過ごせるように、提供サービスや人材育成を継続的にまいります。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0		ご利用様が、楽しく過ごせるように、提供サービスや提供プログラムをより良いものへ日々改善していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0		ご利用者の満足度が高まるように、全般的な業務内容の精査・評価をおこない、より良いものへ改善していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	舞子坂音楽堂児童デイサービス				公表日	2025年 1月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	基準省令2.47mを超える床面積3.46m ² を確保し、余裕を感じられる3.0m ² を超えています。	トイレが1か所のため、100m離れた系列事業所のトイレを年3回/年に利用するケースがあるが、日常的な混乱はありません。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	人員基準を満たし、全体バランスを考慮し、支援状況により増員している。また、利用者の性別において配慮をおこなう。	引き続き、より良い支援提供ができるように適切な運営体制を整備していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	遊具、楽器、調理道具などしっかりと区画を整備し認識しやすい。入室フロアはバリアフリー化しており、利用者への環境は整備済み。	玄関アプローチのバリアフリー化が未整備で、車いす利用者が自力で入室できるスロープはありませんが、職員の負担になる状態ではありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃業務で清潔保持に努め、活動毎に、フレキシブルに対応できる環境にあり、学習スペースと遊具スペースの空間を分けている。	自由時間には、楽器を自由に演奏できる空間であるが、個別の防音空間設備は未整備。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個々の状況や支援内容により、個別に空間利用している。また、部屋が不足する事態には、隣接する車両を使用することができます。	個々のご利用者様の状況に適切に対応できるように、継続して支援しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	未回答1	法人のフィロソフィーを共有し、結果を評価して業務改善に努めています。	取組が具体的な活動になるように、継続的な活動をおこなってまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	未回答1	保護者からの自己評価表を精査検討して、業務改善に取り組んでいます。	改善活動が継続的におこなわれる取り組みを実施していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	未回答1	会議はもちろんのこと、随時有効的な意見が交わされるように話しやすい環境を整えています。	風通しの良い環境整備を継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2 未回答1	監督官庁や保護者、学校や他サービス福祉事業者などの意見や提案などを真摯に受け止め、業務改善に役立っています。	第三者評価をおこなうことには至っていませんが、ニーズを把握し適切に対応していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	感染症予防や身体虐待防止研修などを定期的におこなっている。また、必要に応じて外部研修機会を設けています。	引き続き研修を通して、スキルアップをおこなってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	職員間で検討した支援プログラムをHPに公表している。	しっかりと周知され認知度が上がるような工夫をおこないます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	本人主体を基本条件に、定期的に面談をおこないニーズ・課題を聞き取り、計画書立案をおこなっています。	引き続き、より良い計画立案が可能になる環境整備や提案力アップを目指していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	計画書作成の会議では、関わる職員で自由闊達な意見を出し合い、最善な計画書策定の検討会議をおこなっている。	最良な多数の意見を精査し、その時々での最適解が導かれるように、また適切な評価ができるような環境を整えていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画内容を共有し、計画書の遂行に随時成果の評価をおこない、修正点を加味しながら計画達成に向けて支援しています。	計画に沿った支援も、その時々での利用者の状況に応じて臨機応変に対応していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントシートやケース記録、情報共有LINEにて確認・共有している。	情報が多岐にわたるので、個々の情報をしっかりと精査し、自己の行動に落とし込めるような咀嚼をしていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	5領域プログラムに沿って、計画書作成段階から項目を分けて計画し、支援実行後の評価をおこない、次回の支援に活かせる修正点を加味してより良い支援提供がおこなわれるように、日々改善をおこない計画達成へ導いています。	支援のマンネリ化や支援の押し付けにならないように、さまざまな意見や方法を取り入れ、見聞を広げられるように常にアンテナを張り、より良い支援提供者として、ご利用者様に接してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	計画段階で会議をおこない、職員間でニーズ・課題を抽出している。	さらに自由闊達な意見が創出されるように、環境整備を向上させていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	時期や環境に応じて職員間で様々な意見を出し合い工夫しています。	個々の発達状況が様々で、集団での活動プログラムに、立場を超えたプログラム参加で対応する場面もあり、経験値アップに繋がってまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	計画書には、個別・集団活動内容を個々の発達段階に応じて設定しています。	個々の発達段階や状況に応じて、適切に対応してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	その日実行される個々の支援プログラムについて、職員間で共有しチームで連携して提供している。	支援開始前の限定的な時間の確保は困難であるが、それ以外の時間で確保しています。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	個々の勤務体制により、支援終了後の限定した時間の全員参加は困難ですが、ITツールや隙間時間で情報共有しています。	支援終了後の限定的な時間の確保は困難であるが、それ以外の時間で確保しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の活動を毎日ケース記録として記録し、振り返りや評価をしています。また、すぐに情報にたどり着けるようにITを活用しています。	情報が紛失しないように記憶や記録を徹底し、最善の支援計画の材料になるよう記録を継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリングをおこない、個々のニーズや課題を抽出し、適切な見直しをおこなっています。	保護者からの活発な意見が得られるように、環境整備やコミュニケーション力を高めていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	未回答1	音楽活動をベースに、日常生活の充実と自立支援活動をおこない。ボランティア活動の鑑賞会を開催し、地域交流を実施しています。	地域交流に関しては、学校休業日になりますので、多くの参加者が募れるように工夫をしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	職員からの支援の押し付けにならないように、基本的な意思決定を本人主体でおこない、自己効力感の醸成に努めています。	集団活動時には、自己決定に時間を要する場合の対応について、職員間で共通理解を持って対応していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	未回答1	普段関わりや関係性の深い職員からの聞き取りはもちろんのこと、管理者や児童発達支援管理者が主体的に参加している。	普段関わりや関係性の深い職員からの聞き取り形式を採用して対応しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	未回答1	個々のニーズに合致するように、関係機関との情報共有をおこなう体制が整備されています。	今後も、個々のニーズに沿って関係機関との連携をおこない、より良い支援が提供できる体制を整備していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	常に、学校との情報共有体制は有効化されており、トラブル防止の為に努めています。	学校お迎え時に、担当先生や関わる先生との良好な関係構築のために、良好なコミュニケーションを継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	未回答1	基本は、保護者を通じて就学前の情報を共有していますが、状況に応じて事業所との直接情報取得に努めています。	必要に応じて、直接的な情報共有をおこなっています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	状況に応じて、移行事業所に対して、デイサービス利用状況の情報を提供しています。	よりスムーズに移行できるように、プライバシー等に配慮し、情報共有をおこなっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1 未回答1	保護者を通じてのスーパーバイズや助言の実績はありますが、機会に恵まれず直接的な形で実績は少ない。	今後、必要な状況に至った場合には、適切に対応していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2 未回答3	集団での機会はありますが、個々の利用者によって個別に活動している事例はあります。	今後、社会情勢やニーズに応じて対応関係機関と調整して検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2 未回答2		積極的な参加には至っておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	利用毎の状況を引き渡し時に説明し、保護者からの意見の表出がしやすいように情報提供し、今後の見通しを立案している。	より良い情報提供が可能になるように、職員のスキルアップを継続的におこなっていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1 未回答2	個別の状況に応じて情報共有できる場を設定しているが、定期的な研修という形式は設けていません。	今後、ニーズを把握し研修開催も検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時やモニタリング面談時、説明が必要な場合は随時丁寧な説明に努めています。	内容が多岐にわたり複雑さもあるので、定量的な説明はするが、個々の保護者からの質問に回答する形で対応しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援計画の策定の基本的な視点は、本人主体であり、それに保護者の意向を踏まえた支援計画の策定がおこなえるように、モニタリング会議や個別対応を実施しニーズ把握に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	定期的な保護者とのモニタリングを通じて、個別支援計画書を作成し、同意を受けただ上で支援を実施しています。	常に、丁寧な説明を心掛け、より良い理解に向けたアクションを実施していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	常に、相談しやすい環境作りを努め、必要に応じてITツールや面談を通じて支援をおこなっています。	今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2 未回答1	交流を主体にした会を開催するには至っていませんが、年2回の保護者が参加できる音楽イベントで、保護者や兄弟間の交流の場を提供しています。	今後、ニーズがあれば交流を主体にした会も検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	情報取得者から上位者に報告する体制が整備され、適切かつ速やかな対応ができる体制が整備されています。	報告業務が滞らないように、職員間の報告方法の精査と有効的な取り組みを今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	未回答1	HPやSNS、日々の引き渡し時を利用し、利用者の情報提供をおこなっています。	常に、良好な情報提供が可能になる方法について精査し、より良い情報提供に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	コンプライアンスを重視し、「個人情報取扱いについての同意書」等の書類を交わし、それに準じて対応しています。	常に、情報漏洩の危機管理をもち、意識していきます。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	個々の意思表示の方法や状況に応じて、主体的な意思表示ができるように配慮しています。	意思疎通の困難な利用者に寄り添った情報獲得ができていないかを常に検証し、恣意的な判断がされないように留意しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	ハロインパーティーでは、地域住民の方に、おやつや配布等をお願いし、パーティーを盛り上げてもらいました。	今後、ニーズにより地域住民との活動枠を整備していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	それぞれのマニュアルの策定及び職員間の情報共有は整備されています。一方でご家族向けの周知率は未知数です。	訓練のための訓練にならないように、訓練をする児童にも実際の災害に備えた訓練になるように参加を促しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を作成し、火災・地震などの避難訓練を毎年実施しています。	訓練のための訓練にならないように、訓練をする児童にも実際の災害に備えた訓練になるように参加を促しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	インテーク時から確認し、状況変化に応じて、都度保護者からの情報共有できる環境を整備しています。	今後も、遅滞ない情報提供がおこなわれるように環境整備をしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	未回答2	医師の指示書に基づく対応児童が現在在籍していませんが、必要に応じて対応していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、日々安全に対するアンテナを張り、常に安全に過ごせるような環境整備をおこなっています。	日々の日常のマナー化に流されないような意識を持ち、常に「かもしれない」と安全に対するアンテナを張っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	日々の支援内容を共有し、支援の内容や方法を通じて安全性に関する取り組みを理解していただけるように情報提供をおこなっています。	どのような形式がより明瞭なのかを常に検討していき改善していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止策について熟考し、再発防止に努めています。	今後も事故防止のための有効な方法を模索していきながら支援していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	毎年、身体虐待防止研修を実施し、職員の認知・レベルアップを図っています。	研修毎に気持ちをリセットし、自分が常に虐待に対しての初心者であることを意識して研修に臨んでいきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	現在、身体拘束が必要な利用者は在籍していませんが、必要に応じてガイドラインに則って適切に対応していきます。	今後、必要性があれば計画書への記載をおこなっていきます。